

13 主な故障状況と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。

取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください。また、処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外のお客様はご面倒ですがお買い上げの販売店または弊社修理課までご連絡ください。

⚠ 警告 部品交換を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先






富士インパルス		
修理課（東日本）	千葉県流山市南流山 2-27-6	TEL 04-7178-6402
修理課（西日本）	大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18	TEL 06-6335-1234

このような時は	ここを確認してください	対処方法
電源スイッチを ON 状態にしてもディスプレイ表示が点灯しない	電源コンセントに電気がきていますか	作業場の電源に電気がきているか確認してください
	電源は確実にコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを確実にコンセントへ差し込んでください
	電源プラグまたは電源コードが破損していませんか	電源コードを交換してください
	電源コードのソケットは確実に電源コード接続用インレットに接続されていますか	電源コードのソケットを確実に電源コード接続用インレットへ接続してください
	-----	上記内容を確認しても改善されない場合は電源スイッチ内部の FUSE が切れている可能性があるため交換が必要です
連続運転 OFF の時エアペダルを踏むが圧着レバーが降らない (ピッという音がしない)	エアペダルホースが確実にエアスイッチ本体に差し込まれていますか	エアペダルホースを確実にエアスイッチ本体側のエルボに差し込んでください
	エアペダルを踏んだときエアスイッチ本体側に内蔵されているマイクロスイッチからカチッという音がしていますか	カチッという音がしていない場合 →※エアスイッチ本体側を交換してください カチッという音がしている場合 →※コントロールユニットの交換が必要です
連続運転 OFF の時エアペダルを踏むが圧着レバーが降らない (ピッという音がする)	-----	※コントロールユニットの交換が必要です
加熱ランプは点灯しているが、ヒーターが発熱しない、シールができない	ヒーターが切れていませんか	ヒーターを交換してください
	電極とヒーターの接触が悪くなっていますか	電極とヒーターの接触する金属部分をサンドペーパーなどで磨いてください
	電極にきているトランスからの黒 (青) 線が外れていませんか	※電極にきているトランスからの黒 (青) 線を確実に取り付けてください
	-----	※コントロールユニット内部のトライアックの故障が考えられますので交換が必要です

このような時は	ここを確認してください	対処方法
ヒーターが切れやすい	加熱時間が長すぎませんか	シールができる最短の加熱時間に設定してください
	冷却時間が短すぎませんか	冷却時間を充分にとるよう設定してください
	ガラステープやシリコンシートが破損していませんか	ガラステープやシリコンシートを交換してください
ヒーターが中央部で折れて盛り上がる	電極が破損していませんか	※電極を交換してください
シールがきれいにできない	圧着レバーやフレームが熱くなっていますか (加熱時間が変化しなくても圧着レバーやフレームの温度が上昇すると袋(フィルム)が溶け出すことがあります)	冷めるのを待ち、作業間隔を長めでご使用ください
	フローガラスシート、ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムが破損していませんか	フローガラスシート、ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムを交換してください
	冷却時間の設定が短すぎませんか	冷却時間を充分にとるよう設定してください
	袋(フィルム)の厚みに応じた圧力設定になっていますか	圧力調整ナットの調整を行ってください
シールの仕上がり状態が左右で異なる (片方だけが溶けるなど)	シリコンゴムの片側だけが消耗し、へこんでいませんか	シリコンゴムを交換してください
	圧着レバーが降りた時に圧着レバーとフレームの間に片側だけに隙間がありますか	※隙間がある場合はお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください
電源スイッチが自動的に OFF になった	-----	※コントロールユニットまたはマイクロスイッチ、マイクロスイッチケースの故障が考えられますので交換が必要です
加熱ランプが点灯したままでヒーター、フローガラスシートが焼けてしまう		
シール開始直後に電源スイッチが OFF になる	消耗部品交換の際にシリコンシートを貼り忘れていませんか	過電流検知し、自動的に電源スイッチがトリップした可能性があります シリコンシートやガラステープなどの状態を確認してください
シール作業中(加熱中)に電源スイッチが OFF になる	-----	※コントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です
電源スイッチを ON 状態にしてもすぐ OFF になる (ON 側に切り替えられない)	-----	※製品内部の異常の可能性がありますので、お買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください

処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外の方はご面倒でもお買い上げの販売店または弊社修理課までご相談ください。

エラー表示が出た場合の確認事項と対処方法

このような時は	ここを確認してください	対処方法
ディスプレイ表示が  を点滅する	圧着レバーが降りる前にマイクロスイッチが ON の状態だった場合に表示されます	マイクロスイッチまたはマイクロスイッチケースの故障が考えられますので交換が必要です ※「10-7 マイクロスイッチの交換」(→ P.27)を参照して、マイクロスイッチまたはマイクロスイッチケースを交換してください
ディスプレイ表示が  を点滅する	シール終了後もマイクロスイッチが ON の状態のままだった場合に表示されます	※「10-7 マイクロスイッチの交換」(→ P.27)を参照して、マイクロスイッチまたはマイクロスイッチケースを交換してください
ディスプレイ表示が  を点滅する	シール中にマイクロスイッチが OFF になった場合に表示されます →袋の厚みに応じた適切なシール圧力調整が設定されていますか	「9 シール圧力の調整方法」(→ P.19)を参照して、圧力調整を行ってください ※圧力調整を行ってもエラーが表示される場合、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください
ディスプレイ表示が  を点滅する	AC100V 仕様の製品に AC200V の電源が供給された場合に表示されます → AC200V が供給されていませんか	製品仕様にあった電源を供給してください
ディスプレイ表示が  を点滅する	AC200V 仕様の製品に AC100V の電源が供給された場合に表示されます → AC100V が供給されていませんか	それでもエラーが表示される場合はコントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です ※コントロールユニットを交換するかお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください
ディスプレイ表示が  を点滅する	-----	
ディスプレイ表示が  を点滅する	シール作業をスタートしてからレバー降下を検知できない場合に表示されます →使用範囲外の厚みの袋をシールしていませんか	「4 正しい使用範囲」(→ P.7)を参照して、シール可能な厚みの袋をお使いください それでもエラーが表示される場合はマイクロスイッチまたはマイクロスイッチケースの故障が考えられますので交換が必要です ※「10-7 マイクロスイッチの交換」(→ P.27)を参照して、マイクロスイッチまたはマイクロスイッチケースを交換してください
ディスプレイ表示が  }  を点滅する	-----	電源を入れ直してください それでも表示される場合、コントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です ※コントロールユニットを交換するかお買い上げの販売店または弊社修理課まで修理をご依頼ください